

# 仙台青葉工業クラブだより

第8号  
平成24年12月

仙台青葉工業  
クラブ事務局

仙台市青葉区荒巻字青葉6-6 東北大学大学院  
工学研究科青葉工業会  
電話 022-795-7992

クラブルーム  
大観楼

仙台市青葉区一番町  
3-9-5 日銀仙台支店裏  
電話 022-221-7575

## 『震災復興と』

### 東北大学の未来』

仙台青葉工業クラブ会長  
東北大学工学研究科長・工学部長

金井 浩



東日本大震災によって、全ての研究室で大きな物的被害がありました。特に被害が大きかった電気・情報系、マテリアル・開発系、人間・環境系の3棟は、26年3月までに免震構造で新築されます。これらはこの40年以上にわたり、年末年始も灯が消えない不夜城でしたが、3・11以降、結局再び灯が灯ることもなく解体されました。

工学研究科附属災害制御研究センターが核になり24年4月に災害科学国際研究所が設立されました。本学では70年ぶりの研究所新設で、教員定員12増も認められ、国の期待も大きいことがわかります。また、電気通信

工学専攻が2つに分かれ、電気エネルギーシステム専攻と通信工学専攻になりました。両専攻も震災以後、社会から大変期待されています。

研究関係では、上海交通大学、世界大学ランキング（工学／情報科学分野2012年）で本学は世界で23位、日本で一位になりました。また、朝日新聞出版「大学ランキング2013年版」によると、本学は、高校からの総合評価が8年連続日本一で、「進学して伸びた」という高い評価を得ています。

社会や産業界から人材育成、研究の両面で大学改革を求める声が強くなっており、少子高齢化、財政再建、新興国の

追い上げに伴う競争力低下の状況で、運営費交付金1%減は17年度から8年間続いています。資源の少ない日本では、特に工学が中心になり、国を支える中長期的戦略を検討し、個々の教員の基盤研究を組織として束ね

て進める必要があります。一方、人材育成では、地球と人類の持続可能性に関わる問題解決に向け、幅広い学問的基礎をもつ創造的な人材育成のため、大学教育を見直すことも必要です。我々の使命は、「真に豊かな社会」を創造するため、今後も、良い教育と素晴らしい研究成果が上がるよう、研究科・学部をあげて社会の要請に添えていく所存です。今後ともどうぞ皆様のご支援をよろしくお願いたします。